

造船業における激突され災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	15~16	1号ドック、左舷ドックサイドにて、被災者は1人で、冷却水ホースを外す為、弁を閉めホースを取り外した。被災者は固定ラインに圧力が掛かっている事を失念し、加圧状態の固定ライン（65A）から弁を取り外した時、噴出した水を身体に受け転倒し、右足と右手を骨折した。	31~9	1
4	15~16	当造船所に於いて、船体をローラにてけい船中、突風にてロープが切れ右手に当たり負傷した。	39~9	1
4	13~14	工場内にてフォークリフトでパレット片付け中、フォークリフトの左側に立ち誘導中、フォークリフトを右に切り替えした際、左側後輪のタイヤと右足首が接触し負傷した。	33~9	1
7	10~11	サブ材の乗ったパレット（4m×6m）20Tを25Tクレーンで沖バージから70mの移動作業を行うのにバージから水切り後B棟荷上場で方向転換していたら、クレーンが徐々に西側に流れていたことに気づかず作業していた被災者に当たってしまった。	65~29	10
11	17~18	レーザー切断機に天井クレーンにてアルミ板をセッティング移動中に、20cmほどバキュームリフトで吊り上げたが落下した。その際、右手で板を下部より支えていたため、土台（滑り止め板）に挟まれ、人差し指を負傷した。原因、アルミ板上のバキュームリフト吸着箇所が掃除が出来ていなかった。	40~29	10
12	15~16	屋外資材置場でクレーンの作業中に吊り具が左腕に当たり負傷した。	62~29	10

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html